



令和4年度「平和の集い」開催

松戸市では、「世界平和都市宣言」に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を祈願するとともに、悲惨な戦争を風化させることなく次の世代に継承し、改めて平和の尊さを認識していただくイベントとして令和4年度「平和の集い」を以下のとおり開催します。

- 日時 令和4年11月27日（日）13時～16時30分 ※開場12時30分
- 会場 松戸市民劇場ホール（松戸市本町11番地の6）
- 内容 平和大使長崎派遣・親子平和大使広島派遣報告会（13時10分～）

今年度、長崎市を訪問した平和大使（市内中学生）と広島市を訪問した親子平和大使（市内小学校6年生とその保護者）が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

ピースセッション（14時20分～）

異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を発表します。

地球のステージ MATSUDO2022（14時40分～）

世界中を巡り医療支援活動を続ける現役医師の桑山紀彦くわやまのりひこ氏が、世界で現実に行き起きている紛争・災害・貧困の中で生きる人々の姿を、音楽と映像と語りを組み合わせたコンサートステージで伝えます。

※プログラムの進行状況によっては、多少時間が前後する場合があります。



桑山 紀彦氏

- 定員 先着200人 ※申込み不要
- 費用 無料

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総務部総務課 ☎047-366-7305

FAX047-363-3200 ✉ mcsoumu@city.matsudo.chiba.jp

世界平和都市宣言事業 「平和の集い」

地球のステージ



NPO法人 地球のステージ代表理事
くわやま のりひこ
桑山 紀彦 氏

日時 2022.11.27(日) 13:00~16:30
(開場12:30)

会場 松戸市民劇場ホール

〒271-0091 松戸市本町11番地の6

松戸駅西口徒歩5分

※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

費用 無料

定員 先着200人(予約不要)

※手話通訳・要約筆記あり

プログラム

■ 平和大使長崎派遣・親子平和大使広島派遣 報告会

—今年度、長崎を訪問した平和大使(市内中学生)と広島を訪問した親子平和大使(市内小学校6年生とその保護者)が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

■ ピースセッション

—異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を発表します。

■ 地球のステージ MATSUDO 2022

—紛争・災害・貧困の地でたくましく生きる子どもたちの姿を、世界中を巡り医療ボランティアを続ける桑山氏が音楽と映像と語りで伝えます。



※定員や内容が変更となる場合があります。最新情報は市ホームページをご覧ください。

松戸市ホームページ
「平和の集い」

主催 松戸市
後援 公益財団法人松戸市国際交流協会
問合せ 松戸市総務部総務課 TEL 047-366-7305

『平和の集い』は、
平和基金を活用して
事業を実施しています。

松戸市ホームページ
「平和基金」



○ 公演者プロフィール

NPO法人 地球のステージ代表理事 桑山 紀彦 氏

これまでタイ-カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療救援活動を行っている医師。現在も年に数回、東ティモールやパレスチナで医療支援活動を展開しているほか、地震等の緊急医療救援、被災者の心のケアにも携わっています。

東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2ヶ月間、24時間の診療体制で診療を行いました。その後はみなさんに寄り添いながら日々「心のケア」に携わってきました。現在は神奈川県海老名市にある「海老名こころのクリニック」の院長として、日々の診療にあたっています。

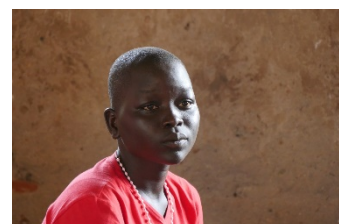


○ 公演内容

1. オープニング～「天空の窓」

2. 南スーダン篇～「陽炎」

紛争が続く祖国を逃れて、隣国ウガンダで暮らす南スーダンの人々。本当の幸せを求めて、一人ひとりが懸命に生きています。



3. 旧ユーゴスラビア篇～「国境に咲く花」

90年代に起こった旧ユーゴスラビア内戦。子どもたちの心は傷つき、ふと見せる陰った表情に戦争の深さを知る思いでした。しかしそこで見たものは、懸命に生きる人々の姿でした。500キロもの道程を逃げてきた少年のズック。替えがないので穴があきボロボロ。しかしこの写真から「生き抜く強さ」を教えられます。今回15年ぶりにリバイバル版としてお届けします。



4. ヒロシマ篇～「あかね雲」

被爆地ヒロシマ。証言者として当時のことを語り続ける人、若い世代へ語り継がれるヒロシマのお話。「人は忘れてしまう生き物、だからこそ続けている平和教育」、ある中学校の取り組みもお届けします。



5. 2つの津波篇～「逢いたい」

津波で破壊されたスリランカ沿岸の街の復興の様子と、スリランカに生きる人々の強さを描き出します。そして東日本大震災で津波被害を受けた宮城県名取市閑上の復興の様子を描くとともに、この2つの支援活動を通して得た共通の思いや新たな気づきについてお伝えします。



6. 故郷篇～「ねがい」

7. エンディング

※マスク着用（人との距離が2m以上確保でき、会話をしない場合を除く）や検温、手指消毒などの感染対策にご協力をお願いいたします。

※会場内換気のため、公演の途中で休憩時間を設けます。